

今回の新型コロナウイルスで僕たちはこれまで経験したことがないような苦難や絶望を経験しました。人類はこれまでこうした困難の中どのように「希望」を見いだしてきたのでしょうか。

中世の時代の人々であれば、それは「神様」でした。難しい状況に陥るとみんな神様にすがって祈りました。

近代では「科学」です。科学は、要は人間が積み上げてきた知識です。「科学的根拠があるのかどうか」に人々は答えを求めるようになりました。



近年では、僕らがすがり始めているのが「スマホ」や「AI」ではないでしょうか。

最近のAIの進化はすごいです。2016年に「ストックフィッシュ」というAIがチェスの世界チャンピオンになりました。このAIは、人類のすべての指し方を学習させ、機械同士の対戦も全部学習させることで強くなりました。

そして翌年、これを破ってチャンピオンになったのが「アルファゼロ」というAIでした。「アルファゼロ」に教えたのはルールだけです。人間の情報をインプットせずに独自に学習させ、後は自己対戦を繰り返しながら自ら強くなっていったのです。しかもその学習時間は「4時間」でした。

たった4時間で、人類が積み上げてきたそれまでのチェスの歴史を一気に塗り替えてしまったのです。AIにとって情報を集めて活用することはそれくらい簡単なことなのです。

スマホについている翻訳機能もどんどん精度が上がっています。皆さんが使った情報が蓄積され、集約されているからです。やがてこの翻訳機能の完成度があるレベルに達した瞬間から人間はもう通訳をする必要がなくなり、そうなれば「通訳」という職業自体がなくなってしまうかもしれません。

先生とかお医者さんの職業もそうです。今はそういう劇的な変化がいつやってくるか分からない時代なのです。

**職業というのは時代によって大きく変化します。昔あった職業が、時代の変化によって違う職業に取って代わられるということがこれまで幾度となく繰り返されてきました。**

今後、その変化のサイクルはさらに短くなるでしょう。皆さんが今就いている職業も将来はなくなっているかもしれないし、想像もしていなかったような職業が現れる可能性だってあるのです。

そんな「先々どうなるか分からない時代」の中で、人々はさまざまな苦難や絶望を抱えるのです。

そこからどう「希望」を見いだしていけるのか、それを僕らは考えなきゃいけないのです。